

# 概要（事前分析表（案）のポイント）

## 施策目標Ⅶ-1-2

複合的な課題を抱える生活困窮者に対し、就労、家計、住まい等に関する包括的な支援を行うことにより、その自立を促進すること

# 確認すべき主な事項（事前分析表）

## 背景・課題について

1

施策目標の実現に向けて、どのような課題があるかを過不足なく記載できているか。  
（注1） 課題の分析に漏れがあると、その後が続く、達成目標の設定が不十分となる可能性あり。

## 達成目標について

2

課題に対応した達成目標を設定できているか。

3

施策目標の実現に向け、適切にブレイクダウンできているか、抽象的なものとなっていないか。  
（注2） 達成目標に含まれる内容が多すぎる場合は、適宜分割をすることも要検討。

## 測定指標、参考指標について

4

達成目標の進捗度合いを測定する指標として、合理的な指標が設定されているか（達成目標と測定指標の関係性は明確か）。

5

測定指標はアウトプットとアウトカムの双方が設定されているか。  
（注3） 最終的なアウトカムだけでなく、アウトプットと直接的な関係性のある短期的なアウトカムや、最終的なアウトカムを実現するための中期的なアウトカムを設定することが望ましい。

6

測定指標のうち「主要な指標」とそれ以外の指標が区分されているか。また、「主要な指標」とする理由は明確で、適切に選定されているか。

7

当該年度の目標値が記載されているか。

8

目標値は過年度実績や最終目標年度の目標値を踏まえ、適切な水準に設定されているか。

9

目標値を設定することは困難だが、実績値を経年的に把握することで、評価の参考となる情報について、参考指標として設定されているか。

## 達成手段について

10

測定指標と関連する達成手段数が0となっていないか。

11

達成目標と関連する達成手段が多数になっているなど、達成目標と達成手段との関係が複雑な構造となっていないか。（注2）参照

# 【概要】令和6年度事前分析表（案）（施策目標Ⅶ-1-2）

基本目標Ⅶ： ナショナル・ミニマムを保障し、社会変化に対応した福祉サービスを提供するとともに、自立した生活の実現や安心の確保等を図ること

施策大目標1： 地域住民の様々なニーズに対して、地域の関係機関が連携して、必要な福祉サービスや支援を包括的に提供しつつ、地域の多様な主体の参加・協働を促し、地域共生社会を実現すること

施策目標2： **複合的な課題を抱える生活困窮者に対し、就労、家計、住まい等に関する包括的な支援を行うことにより、その自立を促進すること**

## 現状(背景)

### 1. 生活困窮者の相談支援の現状

- ・ 自立相談支援機関における新規相談受付件数・自立生活のためのプラン作成件数は毎年増加してきたが、特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により急激に増加。
- ・ 令和4年度の新規相談件数・プラン作成件数は前年に比べ減少しているものの、令和元年度以前と比べると依然として高い水準。
- ・ 生活困窮者の中には、ひきこもり状態にある方や長期無業者など、社会的に孤立しやすく、就労等自立に向けた寄り添った支援が必要な方や、経済的困窮のみならず様々な生活課題を抱える方も多い。

### 2. 新規相談者の相談内容等

- ・ 自立相談支援機関における新規相談者の相談内容は「収入・生活費のこと」が62.8%と一番多く、次いで「家賃やローンの支払いのこと」、「仕事探し、就職について」が多い。
- ・ 新規相談者の課題と特性は、「経済的困窮」が58.0%と一番多く、次いで「住まい不安定」、「就職活動困難」、「病気」が多い。
- ・ 自立相談支援事業の就労支援対象者数は増加傾向。他方、就労・増収率は年々低下していたが、令和3年度は35%となり、前年より増加。

### 3. 矯正施設退所者の福祉的支援の現状

- ・ 福祉の支援が必要な矯正施設入所者のうち、入所受刑者の高齢者率は12.2%(平成28年)から13.8%(令和3年)に増加。
- ・ 精神障害を有すると診断された入所受刑者は14.3%(平成28年)から15.3%(令和3年)に増加。
- ・ 矯正施設を退所し受入れ先に帰住した者のうち障害のある者は846人(令和3年度)。
- ・ 矯正施設退所後にフォローアップ(受入先施設等への支援)を実施した者は2,600人(令和3年度)であり、うち地域に定着し支援が終了した者は723人。

#### 課題 1

生活困窮の背景にある課題は多岐にわたり、課題を複数抱える者も少なくない

#### 達成目標 1

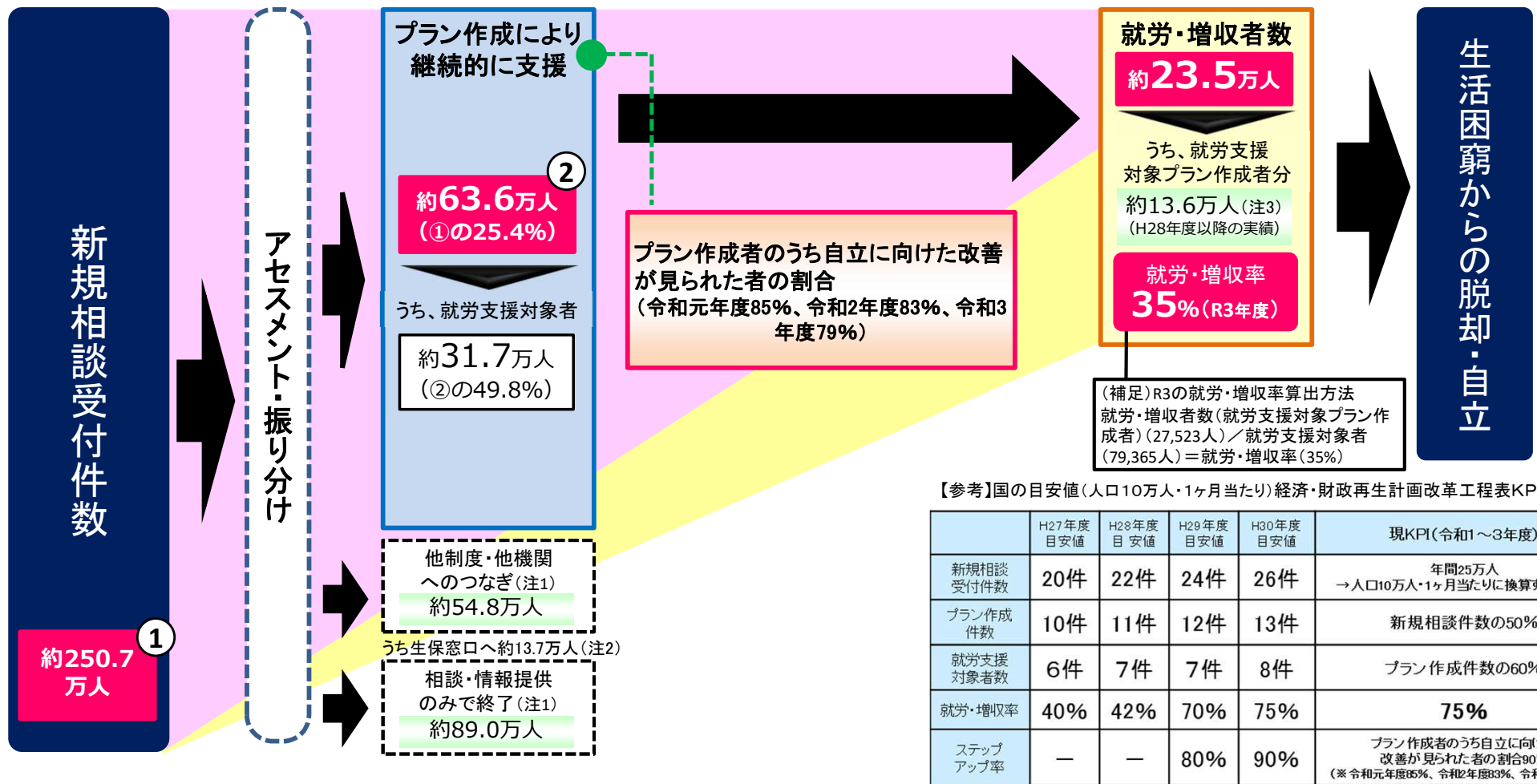
生活困窮者に対して、本人の状況に応じ、自立に向けた包括的な支援を提供

### 【測定指標】太字・下線が主要な指標

- |   |  |
|---|--|
| 1 自立相談支援事業における年間新規相談件数 (アウトプット)                 | 5 <u>住居確保給付金受給中に常用就職した者の割合 (アウトカム)</u>             |
| 2 自立生活のためのプラン作成件数の割合(アウトプット)                    | 6 <u>自立生活のためのプラン作成者のうち、自立に向け改善が見られた者の割合(アウトカム)</u> |
| 3 自立生活のためのプランに就労支援が盛り込まれた対象者の割合 (アウトプット)        | 7 フォローアップ業務実施者のうち、フォローアップ業務を終了した者の割合(アウトカム)        |
| 4 就労支援プラン対象者のうち、就労した者及び就労による収入が増加した者の割合 (アウトカム) |  |

# 生活困窮者自立支援法による支援の効果 (H27～R3)

- 施行後 7 年間で
  - ・新規相談受付件数は、**約250.7万件**。
  - ・継続的な支援のためプランを作成した件数は、**約63.6万件**。
  - ・就労・増収につながった者は、**約23.5万人**。令和3年度の就労・増収率は**35%**。
- 令和3年度において、プラン作成者のうち自立に向けた改善が見られた者の割合は**79%**。



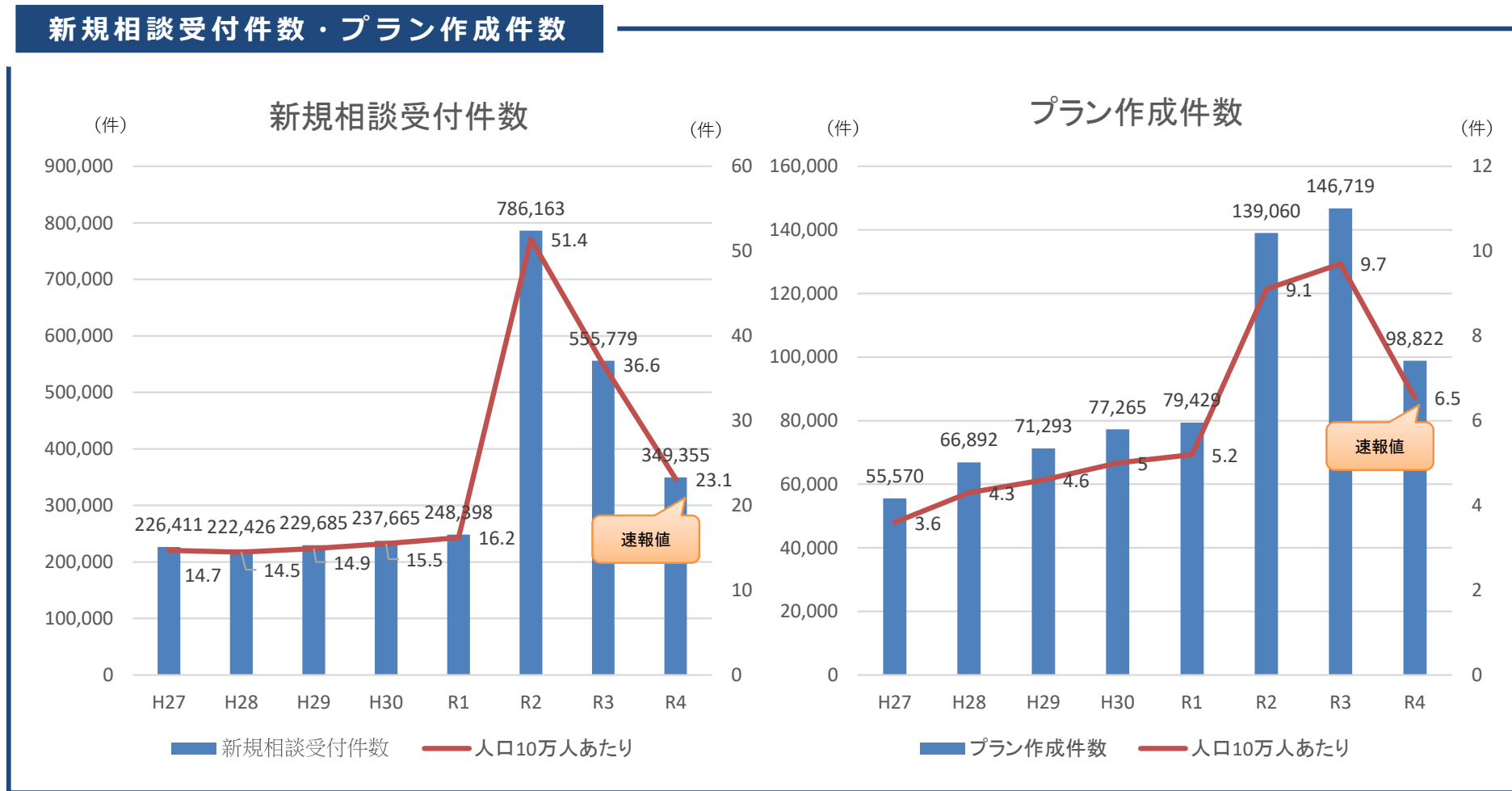
【参考】国の目安値(人口10万人・1ヶ月当たり)経済・財政再生計画改革工程表KPI

	H27年度 目安値	H28年度 目安値	H29年度 目安値	H30年度 目安値	現KPI(令和1～3年度)
新規相談 受付件数	20件	22件	24件	26件	年間25万人 →人口10万人・1ヶ月当たり に換算すると16件
プラン作成 件数	10件	11件	12件	13件	新規相談件数の50%
就労支援 対象者数	6件	7件	7件	8件	プラン作成件数の60%
就労・増収率	40%	42%	70%	75%	<b>75%</b>
ステップ アップ率	—	—	80%	90%	プラン作成者のうち自立に向けた 改善が見られた者の割合90% (※令和元年度85%、令和2年度83%、令和3年度79%)

【注1】新たな評価指標による調査(各年度集計値)をもとに「他制度・他機関へのつなぎ」「相談・情報提供のみで終了」の占有率を算出し、生活困窮者自立支援室で推計。令和2年度以降は統計システムより抽出。  
 【注2】新たな評価資料による調査より、「他制度・他機関へのつなぎ」の件数うち、「福祉事務所(生活保護担当部署)」につないだ割合をもとに、生活困窮者自立支援室で推計した。令和2年度以降は統計システムより抽出。  
 【注3】平成28年度より実績把握を開始したため、平成28年度以降の実績(合計値)となる。

# 自立相談支援機関における新規相談受付件数・自立支援計画（プラン）作成件数

- 令和3年度の新規相談件数は前年に比べ減少しているものの、プラン作成件数は増加している。



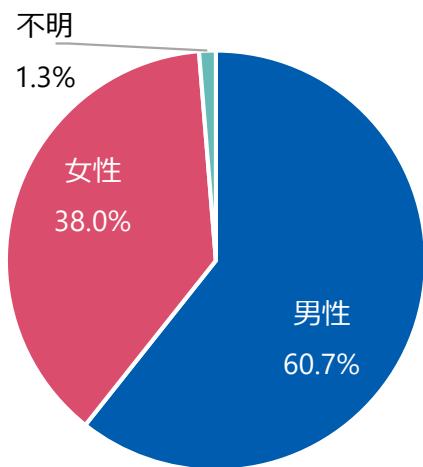
※ H27～R3支援状況調査、R4生活困窮者自立支援統計システム

# 生活困窮者自立支援事業の実施状況（新規相談者の属性）

○ 新規相談者は男性約6割、女性約4割となっており、相談内容は「収入・生活費のこと」が62.8%となっている。

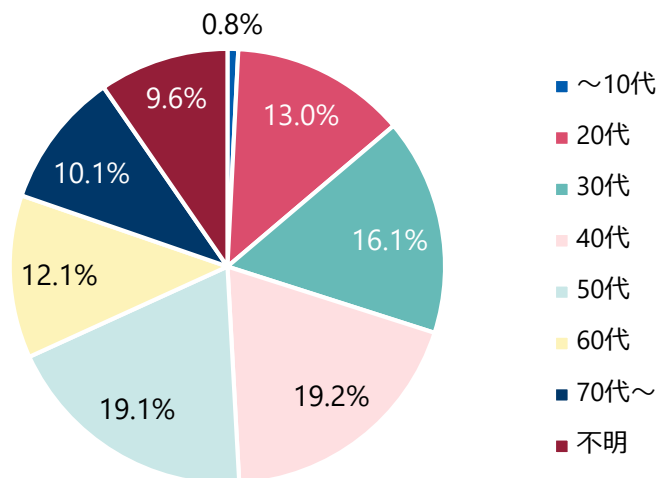
## 1. 性別

(n=523,528)

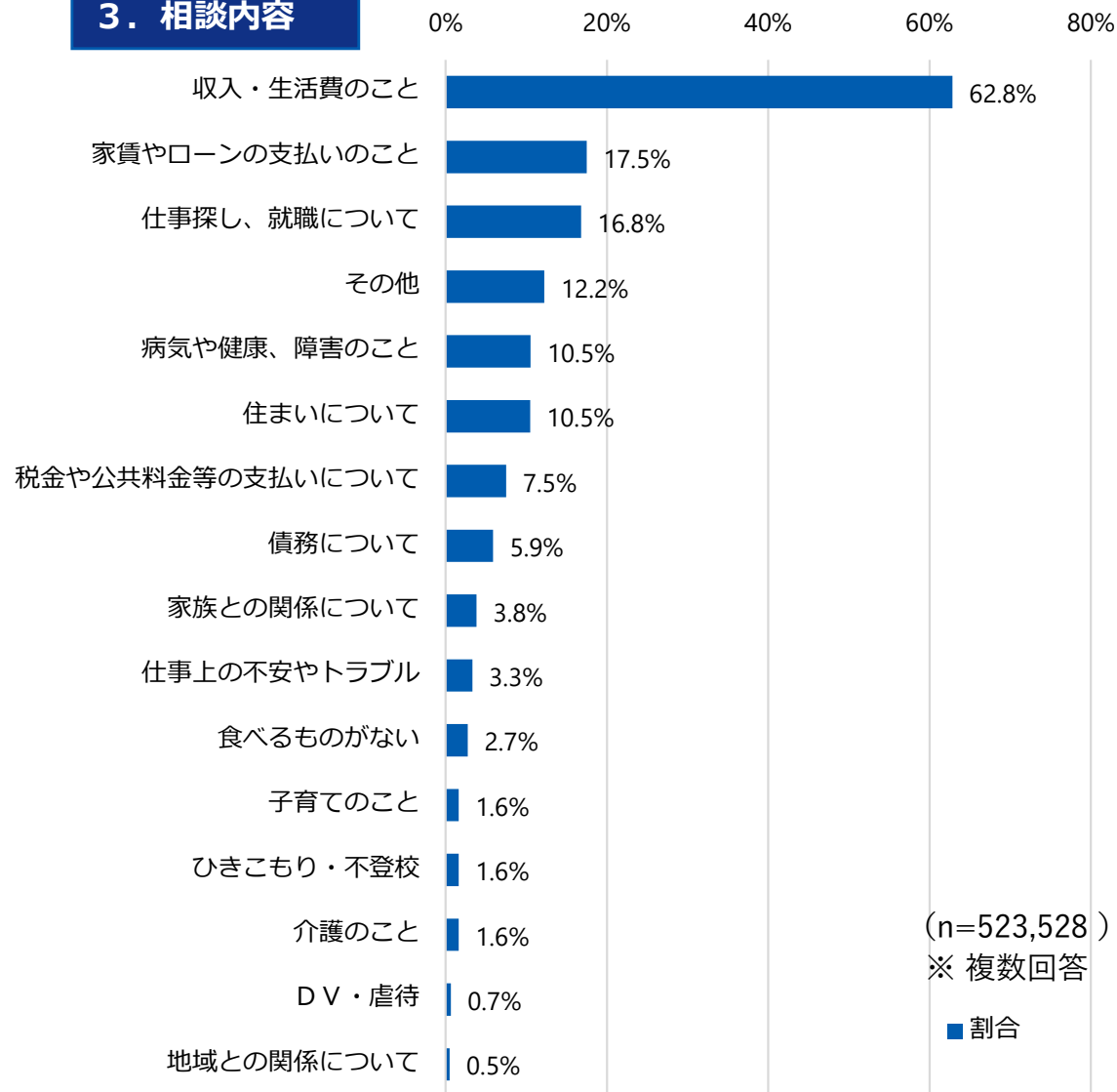


## 2. 年代

(n=523,528)



## 3. 相談内容



(n=523,528)

※ 複数回答

■ 割合

※ 生活困窮者自立支援統計システムより抽出（令和3年度）

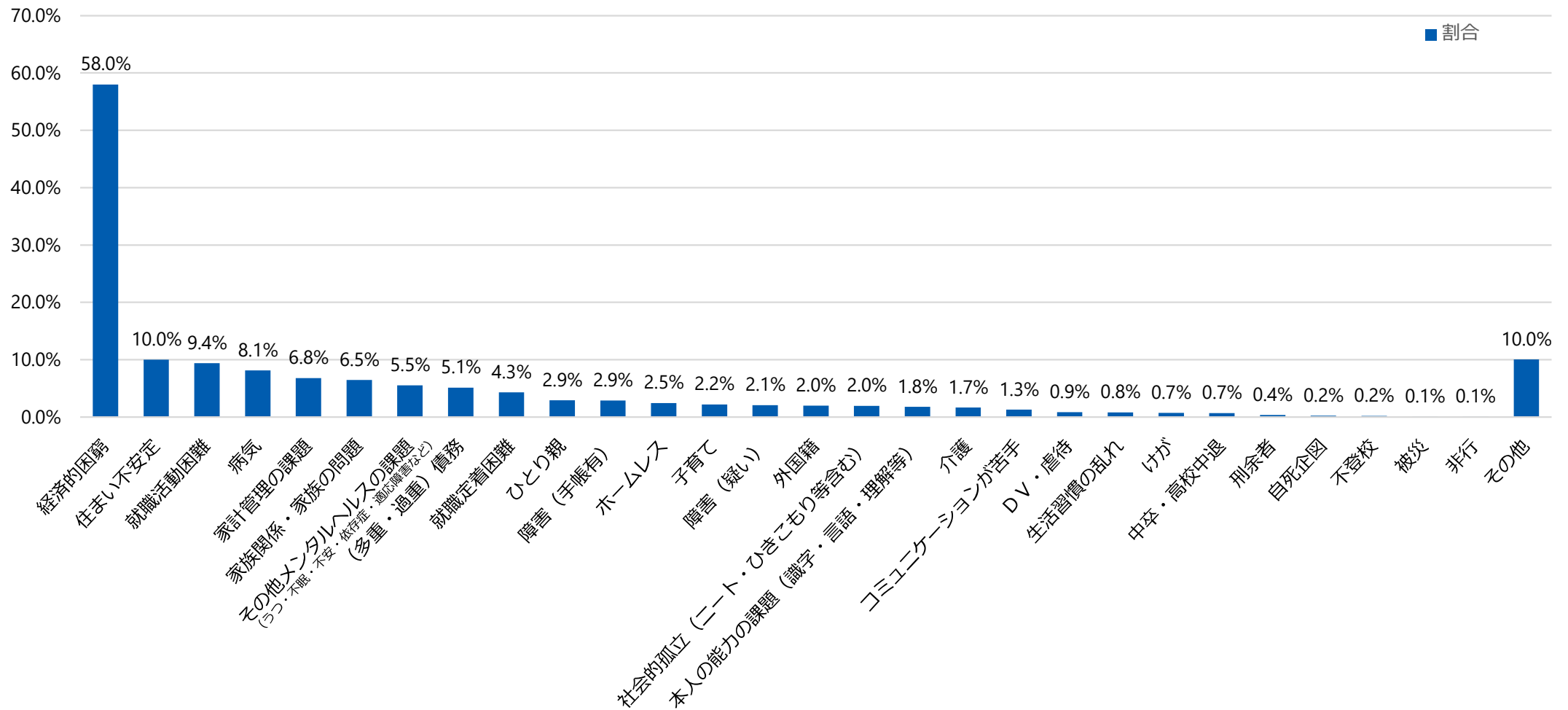


# 生活困窮者自立支援事業の実施状況（新規相談者の課題と特性）

○ 新規相談者の課題と特性は、「経済的困窮」が58.0%と一番多く、次いで「住まい不安定」、「就職活動困難」、「病気」となっている。

## 4. 相談者の課題と特性

(n=523,528) ※ 複数回答



# 法定事業の利用状況と支援効果：自立相談支援事業

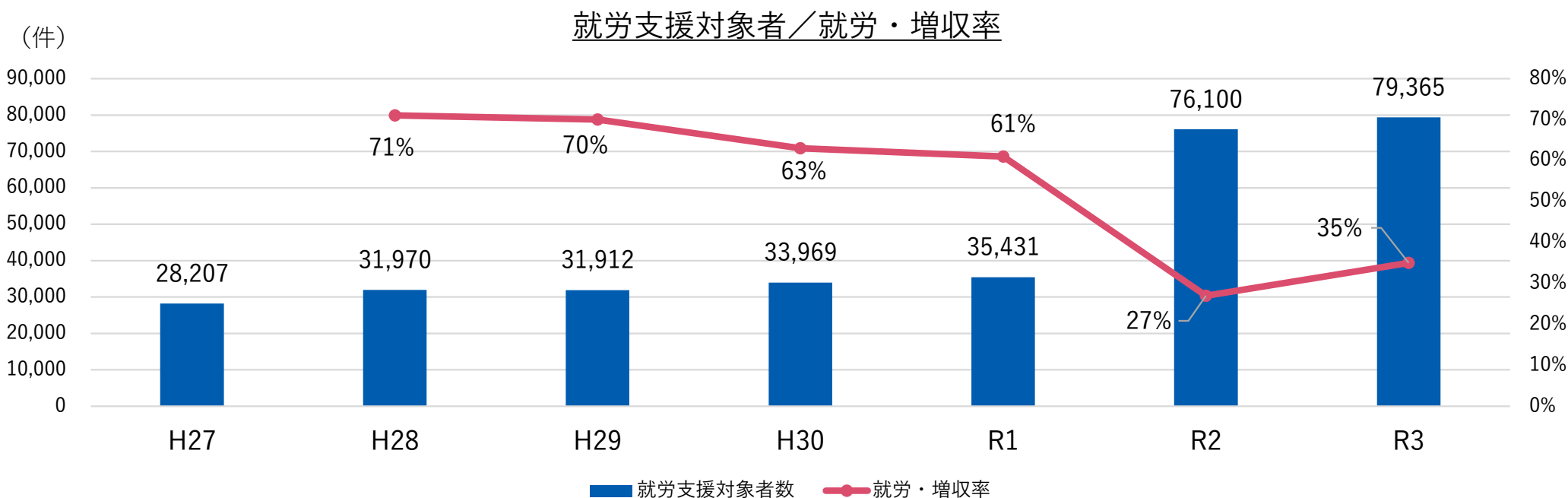
- 自立相談支援事業の就労支援対象者数は増加傾向にある。他方、就労・増収率は年々低下していたが、令和3年度は35%となり、前年より増加している。

## 自立相談支援事業の就労支援

実施自治体	906自治体 (R3年度)
利用件数 (延べ数)	58,384件 (R3年度)

就労支援対象者  
(※)

就労・増収率 35%  
就労率のみ 22%



※就労支援対象者は、プラン期間内での一般就労を目標としている人。



